

【別紙】

作文「これからの日本芸術院について」

以下の課題及び要領に沿って作文を記述してください。

1. 作文課題

日本芸術院は、芸術上の功績顕著な芸術家を優遇するための荣誉機関であり、令和元年には創設 100 年を迎えました。

また、芸術の発達に寄与する活動を行うとともに、芸術に関する重要事項を審議し、これを文部科学大臣又は文化庁長官に意見を述べることが法令で定められております。

日本芸術院は、院長及び 120 名以内の会員と事務局で組織され、所蔵作品展、会員による特別講演会、子供 夢・アート・アカデミーなどの事業を行っています。

ここ数年の新型コロナウイルスの感染拡大により上記事業も中止や規模の縮小などを余儀なくされてきましたが、令和 5 年 5 月には新型コロナウイルス感染症の位置づけも変わり、これまでの制限が緩和され、より積極的な事業展開が見込める状況となってきました。

一方、日本芸術院は令和 3 年度に大きな組織改編を行い、「写真・映像」、「マンガ」や「映画」など新たな分科が誕生し、当該分科に所属する会員も選出されています。

このような状況を踏まえて、令和 5 年度以降、日本芸術院がより一層我が国の芸術の発達に寄与するために、どのような組織であるべきか、あるいはどのような事業を行っていくべきかなど日本芸術院のこれからの在り方について 800 字程度で記述をお願いします。

2. 作成要領

- (1) 様式は A 4 縦判、横書きとし、Word などで作成すること。なお、上下左右の余白、ページ数、文字の大きさなどは任意とします。
- (2) 2 枚以上となる場合は、下部にページ数を付してください。
- (3) 冒頭に題名と氏名を記載してください。なお、題名は記述内容に沿って任意に設定してください。